

參觀記

尾久隣保館を訪ふ

附屬幼稚園 上 遠 文 子

尾久隣保館を參觀に行く。

市營自動車尾竹橋で下車、隅田川に沿つて、工場地を暫くゆくと左側に木造建築の尾久隣保館がある。

主任先生の御見えになるまで事務室でお待ちする、隣保館といふ空氣にふれた事の始めてな私は、まだ見ぬ内容を思ひめぐらしてみた。環境と云へば、こゝいら一帯は工場地帯で〇〇工場、××工場と記された建物の連續で普通の家は殆んどない。家と云へば、工場と工場の間には都落の様に、木造アパートとでも申しませうか、一間位の間口の家が續いて居り、工員の家族、その他の人々が住んでゐる。

普通工場地帯の非衛生的な様子はちつとも感ぜず、むしろ私の想像して來たのより閑靜な所である。

間もなく主任の秋谷先生がおみえになり、種々と隣保館の内容をくわしく説明していただいた。

此の隅田川に沿つた一角に、工場と共にこの隣保館をはじめ、母子寮、醫院、授産場、集會所、公園、事務所、があり、尾久住宅管理事務所管理の下に一部落をつくりて生活してゐるのである。事務所とは即ち、東京府社會事業協會主體のもので、大正十二年九月一日の關東大震災で焼出された罹災者保護の爲設置され

たもので、隣保館も大正十四年七月十五日創立してゐる。今では罹災者ばかりでなく他の人々も混つてゐる。従つて隣保館の幼児も、三通りで、普通の幼稚園児、遺族園児、いわゆる母親又は両親が生活のため一日家を開けて一日中又は續いて隣保館にあづかる園児とで、今は凡そ百二十人の園児がいられるとの事。

入園の折、家の間敷が少く、家族の人数が多く、収入額の少い人の子供程、入園の優先權を與へていられる事は、普通幼稚園とは異つた、面白い點と思ふ。母親一人で、その母親が働に出るため朝早く、此處へあつて、夜おそく迄、又は仕事で夜歸れぬ時は、母子寮の方で御世話をする様に、朝八時より夕方四時までの保育時間も、時により延長するので五人の職員の中二人は住込みで御世話していられる。「朝八時から夕方四時までと云つても保育時間は夜中までも又それ以上も、事實上延長されてゐます」との先生の御言葉に、私共の畫中の保育など本常に贅澤な程なのだといふ痛感致しました。

「ヤネヨリタカイコヒノボリ」お子さん達の歌ふ聲に引づられて、お遊戯室の方へ御案内していただく。凡そ二十坪程の、遊戯室、正面に五月人形が飾られてあり、左角にはピアノが置いてあり、周圍に椅子が置いてある。

結んで開いて、次々と先生のお引きになるリズムに幼児の體が動き、口が動く。明瞭な言葉動作、生氣のある活動。眞黒に垢埃に汚れた足なによき／＼だし、ぐんと踏みしめるその歩みは、此處にも少國民のひときが感ぜられる。「前の卒業生の中にも少年飛行兵を志願し、あんなにも、あの鼻たれ小僧が立派になつたかとおどろく」との先生のお話に、埃に汚れた眞黒の顔の子供こそ、又々たのもしい日本の子供なのだと思ふ希望と期待をもつてながめる。

満三歳からあづかつていらつしやるので、まだ／＼よち／＼し、お兄さん達の間できよろ／＼した、最年少組もある。

少し高い所に据つけられた擴声器からラヂオ體操の曲が流れてきた。手足をぐんと伸ばして元氣に體操する。續いて幼児體操。あの子も、この子も、皆の手が動く、下手な人も上手な人も、一生懸命でやる。樂し相に又元氣に遊戲し、體操する時こそこの子供達の樂園なのだ。

一組づゝ行進曲にあはせて御部屋に入る。

丁度御節句近くだつたので他の三組は外の鯉のぼりを見に出かける。年長組なのぞくと、鯉の折紙をしていらした。

さすがは年長組、靜かに先生の説明に耳をかたむけて、工夫し

て折る。幼児達の手握られた四角な折紙は、一角折られて、もう一角折られて、鯉の型が出来てきた。オルカンの上にさしてある。お手本の緋鯉も、お仲間の出来るのをうれし相に眺めてある。午前十一時半一組づゝ今日の樂しかつた一日の話を澤山お土産にさよならをする。陽焼した黒い顔で、つぶらな目を、につこりと、「先生さようなら」銘々の草履袋を持つて歸る。幼児達の歸り途をゆくと、隣保館のすぐ前は、もう住宅がぎつしりと竝んである。少しゆくと、報徳公園があり、家に歸つた幼児達はその公園で遊ぶのだ相だ、池がありその小高い所に二宮尊徳先生をお祀りしてある神社がある。國民學校の生徒が敬禮をして通り過ぎる。

鯉のぼりが五月の空を泳いでゐる。先生の御説明をうけつゝ、すつかり拜見して、種々得る所を與へられ、本當に參觀に上つた事をよかつたと一人喜ぶ。國民皆勤。非常時だ。戦時だ、皇軍は前進してゐる。私達女性もすべて働くはこの時なのだ。働く者のためにこの様な隣保館こそ重大な使命があり大いに發展すべき時だ。否發展してゐる。小さい幼児達もすべて張切つた意氣をみて、たのもしいよるこびを此處にも感じた。この尊い參觀記録を私の拙筆にて何も記す事が出来ず本當に申譯なく御詫び申上げ、又御親切な御説明御案内を深く感謝しつゝ、筆をおく。